

## 高嶺小学校 第 1 回学校運営協議会 報告書

1 開催日時 令和 4 年 5 月 1 3 日（金） 1 8 : 3 0 ~ 1 9 : 4 0

2 場 所 高嶺小学校 会議室

### 3 会議内容

- (1) 委嘱状交付
- (2) 学校の年間計画について
- (3) 地域学習の取り組み
- (4) コミュニティースクールへの地域の関わり(講演会)

### 4 熟議内容

- (1) 今回の熟議のテーマ  
「地域学習の取り組み」

#### (2) 話し合った内容

地域学習「うみんちゅ科」について  
学校からの成果課題の報告

- ・海の生き物や糸満のサバニの歴史など地域の理解につながった。また、海の環境を守る視点から発展し、水質調査などを行い身近な自然環境を守る必要性を感じるようになった。
- ・他教科との横断的な学習を進めることで多面的・多角的な学習を行うことができた。
- ・昨年度の活動をさらに深めていくことにより、海洋への関心を高める事ができた。
- ・今年度もコロナ禍で体験活動が制限されることが多かった。
- ・他の 3 小学校や中学校と情報を共有していく必要があるが、今年度は共有できない状態であった。

#### 運営協議会での意見

- ・糸満＝うみんちゅは50代（世代）までなので、今の若年層にはピンとこないのでは。だからこそ、海洋教育は今の糸満の子ども達に必須だと思う。
- ・漁港で栄えた糸満の歴史も併せて学ぶと、育ったふるさと（糸満）に誇りを持つことができるのでは。
- ・水産高校、海人工房、糸満ハーレー、糸満市場など、環境は整っているので、ナイスタイミングのプログラムを活かしてほしい。
- ・学習ボランティアの際に話していた子ども達から「魚を初めてさばいたよ。ビックリしたよ。」という声があった。切り身しか見たことがなかったのでしょ。百聞は一見にしかず！ですね。

- ・自分の子どもは、これまで糸満の海に関してあまり関心を示していなかったが、海洋教育でいろいろと調べたり、験活動に取り組んできたことで、糸満の海について興味を持つようになってきた。
- ・今後、ウニの陸での飼育体験（キャベツなどのエサをあげる体験等）や昔の糸満の漁師の漁法（例えば、GPSのない時代にどうやって遠方まで漁に行けたのか、など）など、探究的に調べる活動にも取り組んでみてはどうか。
- ・学校と地域が一緒になり、取り組んでいくことは大事なことである。